



# アクションプラン 2024



IGRいわて銀河鉄道株式会社

## はじめに

『経営ビジョン(2023～2032)』、『中期経営計画(2023～2027)』の考え方に即した今年度の具体的な計画が、ここで紹介する『アクションプラン 2024』です。

前年度は、2023 年度策定の『経営ビジョン(2023～2032)』及び『中期経営計画(前期:2023～2027)』がスタートした年度であり、これまでの取組を基により成長していくための新たな一歩を踏み出す年でもありました。2023 年度は、新型コロナウイルス感染症の5類へ移行して、日常が少しずつ戻り始めた年ではありましたが、生活様式の変更や人口減少の進展により、旅客運輸収入はコロナ禍前の水準には戻っておらず、我々を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。

こうした状況の中で、2024 年度は『経営ビジョン(2023～2032)』の 2 年目として、より強固な会社としての基盤を築きあげていきます。地域に根差した鉄道会社として、「将来にわたり地域の足を守り続ける」という不変の使命を果たすべく、『中期経営計画(前期:2023～2027)』に掲げる 6 つの重点項目を軸に、目標の達成と諸課題の解決に向けて事業を推進します。四半期ごとに進捗状況を確認し、計画を見直し軌道修正していくことによって、取組をより確実なものにしていきます。(この要約版は、主なものを抜粋したものです。)

### ■ 経営理念

人を 地域を 未来へつなく、かけがえのない鉄道をめざします

### ■ 経営目標

#### I. 【信頼される鉄道】安全・安定を第一に、安心して利用できる鉄道であり続けます

鉄道の根幹である安全・安定輸送を確保するため、計画的な設備投資と維持修繕を実施します。また、地域の皆様への安全啓発活動を推進するとともに、異常時対応訓練や技能訓練を実施し、近年の頻発化・激甚化している災害への対応力の強化を図ります。開業以来の重大鉄道事故「ゼロ」を継続し、信頼される鉄道として安全・安定を第一に、安心して利用できる鉄道であり続けます。

#### II. 【元気な地域】暮らしやすく、にぎわいのある地域づくりに貢献します

鉄道の利用実態やお客さまの声に基づき、より利用しやすい列車ダイヤを目指すとともに、ニーズに即した企画きっぷ・割引きっぷの造成、リアルタイムでの運行情報の配信による利便性の向上により、鉄道の利用促進を図ります。また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、人流が回復傾向にあります。IGRパートナーズ会や地域の関係機関と連携・協働し、鉄道の利活用を通じて地域の活性化に貢献するとともに、沿線地域の皆様のマイレール意識の醸成を図ります。

#### III. 【挑戦する組織】常にチャレンジ精神をもち、成長する企業をめざします

会社を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しつつ、鉄道の利用促進をより積極的に行い、収入確保に向けた取組と、コスト削減に向けた取組を推進し、持続的な経営に向けた強固な財務基盤を構築します。また、社員一人ひとりが常にチャレンジ精神をもち、社内公募制度などを通じて、新たなアイデアの提案や技術を取り入れることで、絶えず前向きに挑戦し、成長し続ける企業風土づくりを進めます。

# I.【信頼される鉄道】安全・安定を第一に、安心して利用できる鉄道であり続けます

## ◆重点項目 1. 【安全・安定輸送の確保】

<p><b>1-1. 重大鉄道事故「ゼロ」の継続</b></p> <p>運輸安全マネジメントやリスクマネジメントの強化、多客輸送期間前の安全総点検の実施などを通じて、安全意識の深化・高度化を図り、重大鉄道事故「ゼロ」を継続します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 運輸安全マネジメント制度に基づいた運輸安全内部監査の実施</li> <li>② 多客輸送期間前の安全総点検の実施</li> <li>③ 鹿笛の効果検証及び動物との衝撃事象検証</li> <li>④ 「ヒヤリ・ハット」など、収集した事象の分析、安全推進委員会などで対策を検討・実施</li> </ul>
<p><b>1-2. 鉄道施設や車両の適切な維持管理と更新</b></p> <p>老朽化が進む鉄道施設や車両の適切な維持管理・更新を計画的に実施することにより、鉄道施設の安全及び車両の安定運行を確保し、信頼性の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 鉄道施設や車両の定期的な検修</li> <li>② 鉄道施設や車両の計画的な更新・維持管理（指令システムの更新や、車両機器の取替、ロングレール交換、電気踏切しゃ断機取替、電柱取替など）の実施</li> </ul>
<p><b>1-3. 異常時における対応力・即応力の強化</b></p> <p>激甚化している自然災害や鉄道テロ等緊急事案に迅速に対応できるよう、関係機関と連携しながら実車運転訓練や防災訓練などを実施するとともに、必要に応じて計画やマニュアル等の見直しを行い、異常時における対応力・即応力の強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実車運転訓練会の実施</li> <li>② 異常時対応訓練の実施並びに付随するマニュアルの見直し、改定</li> <li>③ 関係機関との連携強化（事故・テロ対応を目的とした警察、消防との合同訓練など）</li> <li>④ 他社主催の異常時対応訓練への参加</li> </ul>
<p><b>1-4. 事故防止・安全啓発活動による安全意識の向上</b></p> <p>春・秋の全国交通安全運動に併せた踏切事故防止運動や、小学校等での鉄道安全教室など、事故防止・安全啓発活動を実施し、沿線地域の皆様の安全意識の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 踏切事故防止運動の実施</li> <li>② 安全啓発活動情報の積極的な発信</li> </ul>



客席モケット更新工事



実車運転訓練会（乗客誘導）



警察との合同訓練（不審者対応）



踏切事故防止運動（境田川原踏切）

## II.【元気な地域】暮らしやすく、にぎわいのある地域づくりに貢献します

### ◆重点項目 2. 【便利な鉄道】

<p><b>2-1. 利用しやすい列車ダイヤへの見直し</b></p> <p>鉄道の利用実態調査やお客さまの声に基づき、他の公共交通機関との接続性の向上や乗継の解消を図るなど、より利用しやすい列車ダイヤをめざします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用実態調査の実施</li> <li>② お客さまの声の収集・分析</li> <li>③ ダイヤ改正調整会議</li> </ul>
<p><b>2-2. 利用促進の強化</b></p> <p>お客さまのニーズに即した企画きっぷ・割引きっぷの造成による新規需要の掘り起こしや、シームレスな移動を可能とするMaaS等の新たなモビリティサービスの提供、リアルタイムでの運行情報の発信による利便性の向上などにより、鉄道の利用促進を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新規企画きっぷの造成</li> <li>② リアルタイム運行情報配信システムによる情報提供のブラッシュアップ</li> <li>③ いわて銀河鉄道利用促進協議会など、関係機関との連携</li> <li>④ ホームページやSNSを活用し、IGRのイベント情報や地域のイベント情報などの発信</li> </ul>
<p><b>2-3. キャッシュレスな乗車システムの導入に向けた検討</b></p> <p>ICカードやスマートフォンなどを用いたキャッシュレスな乗車システムの導入に向け、利便性の向上と合わせて、収益面やコスト面からも引き続き検討を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャッシュレス乗車システムの情報収集及び導入検討</li> <li>② 企画定期券のデジタル化検討</li> </ul>
<p><b>2-4. 駅や車両の快適な環境の整備</b></p> <p>お客さまの声をはじめとしたサービス向上に資する情報を社内で共有し、適時適切に対応・改善を図るとともに、より快適にご利用いただけるよう、駅や車両の利用環境の整備に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 駅や車両の利用環境改善</li> <li>② 駅設備点検や巡視の実施と、改善に向けての意見交換会の実施</li> <li>③ 駅設備の改良計画の策定・実施</li> </ul>

### ◆重点項目 3. 【地域との協働とにぎわいの創出】

<p><b>3-1. 多彩なイベントやツアーと情報発信による地域のにぎわい創出</b></p> <p>多彩なイベントの開催や、地域と連携した沿線への着地型ツアーの実施などを通じ、地域のにぎわいを創出するとともに、ホームページやSNSを活用し、沿線地域の魅力ある情報を発信することにより、交流人口の拡大を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 沿線への誘客イベント・ツアーの企画と開催（銀河鉄道まつりなど）</li> <li>② 地域イベントへの参加・参画</li> <li>③ ホームページやSNSを活用し、IGRのイベント情報や地域のイベント情報などの発信【再掲】</li> </ul>
<p><b>3-2. 地域の活性化とマイレール意識の醸成</b></p> <p>IGRパートナーズ会や地域の関係機関と連携・協働し、様々な事業を行うことにより、鉄道の利活用を通じた地域の活性化や、沿線の方々のマイレール意識の醸成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① IGRパートナーズ会や関係機関と連携・協働した事業の企画提案と実施</li> <li>② ファンクラブ会員に向けた新コンテンツの企画と実施</li> </ul>
<p><b>3-3. 駅を中心としたまちづくりへの貢献</b></p> <p>県・沿線市町による公共交通ネットワークの形成や新駅の設置などの「駅を中心としたまちづくり」に、積極的に協力・貢献します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 関係機関と連携のもと、駅舎改良・新駅設置の検討</li> <li>② 沿線市町の公共交通計画策定への参画</li> </ul>



### Ⅲ.【挑戦する組織】常にチャレンジ精神をもち、成長する企業をめざします

#### ◆重点項目 4. 【経営基盤の確立】

##### 4-1. 収支改善に向けた取組の強化

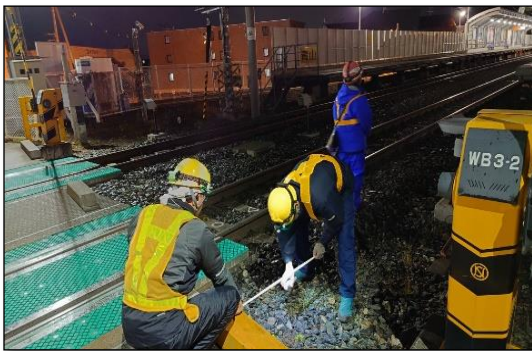
社員一人ひとりが新たな視点やこれまで以上のコスト意識をもち、利便性の向上や利用促進による需要創出により、安定的な収入の確保を図るとともに、徹底的なコスト削減に向けた取組を進めることにより、さらなる収支改善に取り組んでいきます。

- ① 不要設備・低稼働設備を撤去し、設備のスリム化を実施
- ② 設備の長寿命化・省メンテナンス化に資する工事の実施(ロングレール交換・橋梁の重防食塗装・照明のLED化など)
- ③ 社内公募制度で業務改善や収支改善・コスト削減に資する取組の提案・実施
- ④ DX化による業務改善の推進
- ⑤ 運賃の見直し検討
- ⑥ 遊休地の有効活用による増収(売却・賃貸の検討含む)
- ⑦ 鉄道施設を活用した広告スペースの効果的な運用の実施

##### 4-2. 持続的な経営が可能となる財務基盤の構築

全社一丸となり、最大限の経営改善を推し進めるとともに、国や県・沿線市町からもご支援・ご協力をいただきながら、安定的な事業運営と継続的な設備投資が可能となるよう、財務体質の改善を図り、持続的な経営に向けた財務基盤を構築します。

- ① 高いコスト意識を持った予算策定と適切な決算管理
- ② 経営状況を踏まえた設備投資計画の策定
- ③ 各種補助制度を最大限活用し、各事業を推進
- ④ 国・県・沿線市町など、関係機関との連携・協議や要請活動の実施



踏切装置設定作業(馬頭踏切)



ヤマとなる研修



銀河鉄道まつり(好摩駅)



地元保育園の園児と七夕装飾(巢子駅)

## ◆重点項目 5. 【持続的な成長】

<p><b>5-1. 絶えず前向きに挑戦し、成長し続ける企業風土づくり</b></p> <p>社内公募制度などにより、社員のチャレンジ精神の向上を図りながら、新たなアイデアや技術を取り入れることで、さらなる成長・発展につなげていく好循環を作り出すことにより、絶えず前向きに挑戦し、成長し続ける企業風土づくりを進めます。</p>	<p>① 社内公募制度で業務改善や収支改善・コスト削減に資する取組の提案・実施【再掲】</p> <p>② DX化による業務改善の推進【再掲】</p>
<p><b>5-2. 外部環境の変化に迅速かつ的確に対応できる組織体制の整備</b></p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大やDXの推進、少子高齢化の進展など、急速かつ急激な外部環境の変化にも迅速かつ的確に対応できる組織であり続けられるよう、組織・人員体制の不断の見直しを進めます。</p>	<p>① 組織・事業の不断の見直しによる効率的な業務執行体制の構築</p>
<p><b>5-3. 働きやすい職場づくりやワークライフバランスの推進</b></p> <p>働きやすい職場づくりやワークライフバランスを推進し、社員の満足度やエンゲージメントを高めることにより、生産性の向上を図ります。</p>	<p>① DX化による業務改善の推進【再掲】</p> <p>② 執務環境・福利厚生の見直し検討</p>

## ◆重点項目 6. 【人材の確保・育成】

<p><b>6-1. 研修の充実・強化</b></p> <p>持続的に成長する組織であり続けられるよう、社員の職務能力向上に向け、OJTや階層別研修などの社内外の研修の充実・強化を図り、次代を担い組織を牽引していく人材を育成します。</p>	<p>① 人材育成方針策定</p> <p>② 新任階層別研修の実施</p> <p>③ ヤマとなる研修の実施</p> <p>④ 労務管理研修の実施</p> <p>⑤ コンプライアンス研修の実施 など</p>
<p><b>6-2. 安全・安定運行に関する技術力や利用者サービスの向上</b></p> <p>安全・安定運行を確保するための専門的な技術や知見の習得を促進するとともに、お客さまに快適にご利用いただけるよう、接遇研修等によりサービス・スキルの向上を図ります。</p>	<p>① 技術勉強会や若手技能訓練会の実施</p> <p>② 事故防止検討会の実施</p> <p>③ 社外の技術研修などへの参加</p> <p>④ 運転取扱い訓練の実施</p> <p>⑤ バリアフリー研修・接遇研修の実施 など</p>
<p><b>6-3. きめ細かな採用活動</b></p> <p>新卒採用イベントへの参加やインターンシップの実施、多様な採用方法の導入など、きめ細かな採用活動を行うことにより、将来を担う優秀な人材の確保に努めます。</p>	<p>① 適時適切な採用活動の実施 (新卒採用イベント・会社説明会への参加、U・Iターン採用・経験者採用など)</p> <p>② インターンシップの受け入れ</p>